



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

「本物の力」を 大学全入の時代であつても

進路指導課主任 鎌田 英彦

少子化の影響が進学にも反映され、現三年生からは大学全入時代に突入すると言われています。確かに大学や学部にとだわらず、単純に定員と受験生人口を比較すれば全員が大学に入る時代は近づいています。私立大学の中には募集停止、数年後に廃校という所も出てきています。

しかし、これは単に数を比較した場合の話で、本校生の多くが目指す国公立難関大学や難関学部、即、当てはまることではありません。特に東大については、昨年から始めた地方でのオープンキャンパスによる勧誘や、『ドラゴン桜』放映の影響もあり、希望者はかなり増加しました。今年もこの動きに歯止めはかからず、オープン模試の状況などから見ると、昨年より更に一割から二割の増加傾向にあり、人気は高まるばかりです。一方で医学部の人気も衰えず、本校内の理系の総数は年々減少しているにもかかわらず医学部志望は減りません。鶴丸生の受験状況は依然厳しく、激しい戦いの渦中であると言えるでしょう。

後期に入り、三年生はセンター試験の受験を終え、現役合格に向けて本気モードへ切り替わりました。また二年生も、志望大学を意識し、本格的な勉強を始める時期を迎えています。一年生は「出前講義」や「先輩に学ぶ講演会」を経て、文理選択の決断をする時が近づいています。春に大輪の花を咲かせるには、寒い冬にじつと耐えて力を蓄えることが不可欠です。全国に点在するライバル達と対等に勝負していくた

めには、それぞれが今の自分の為すべきことに黙々と真摯に向き合い、「本物の力」を手に入れなければならないことを肝に銘じてください。

「本物の力」は、自律心を持ち、謙虚に学び、他者のことを思いやり、自ら率先して学問の探究に励む「大人」にしか得ることは出来ません。「本物の力」は時代がどう変化しようとも、輝きが失せることはありません。すべての鶴丸生が真に「本物の力」を目指し、一層の努力を重ねてくれる秋に期待しています。

その先にあるもの 第五十八回文化祭



「Make a Story」のテーマの元、来賓、保護者、一般の来場者を多数お迎えし、これ以上ないと思われる秋晴れの中、第五十八回文化祭は華やかに幕を開けた。

開会式に続き音楽部の合唱曲「宇宙艦ヤマト」の迫力あるハーモニーが体育館内に響き渡り、たちまちにして会場内の聴衆は魅了された。続いて披露された書道部の「吟」の磨きがかかった素晴らしい技に満場からは、感嘆のため息がもれた。NHK全国放送コンテスト常連の放送部による本格的なホラー仕立てのドラマ放映の戦慄の展開には、会場のあちこちから女子生徒の悲鳴が上がった。例年のことではあるが、ステージ部門はもちろん、文芸部、茶道部、美術部、イラストレーション研究部、写真部、化



学部、百人一首部などの文化系の展示や実演のレベルの高さには目を見張るものがあつた。また、各クラスの展示も限られた時間の中で工夫を凝らし、来訪者の関心を大いに引いていた。

今回の文化祭ではクラスによる演劇の全員鑑賞や、プロジェクトによる舞台の同時中継放送など、いくつもの新しい試みがあつた。いずれも大変好評であり、鶴丸の文化祭に新しい流れを創り出したと言えよう。

恒例の食物バザーやチャリティバザー、ユニセフカード販売も多数の利用があり、本年度もユニセフ募金に寄付される予定である。ステージ部門後半の特別参加団体はバラエティに富んだ構成で会場を沸かせ、最後を飾る吹奏楽部の迫力のサウンドと、パフォーマンスに会場は一つとなり、大いなる盛り上がりの中、文化祭は幕を閉じた。

耐震工事によって会場配置や準備期間に大きな制約がある中、逆に文化祭に新しい企画を盛り込んでくれた生徒会文化部の諸君を始め、裏方となって文化祭を支えてくれたすべての皆さんに感謝し、来年さらに良い文化祭となることを期待したい。

大学出前講義開かれる

本年度初めての取組として、「大学出前講義」が十月二十日（金）に行われた。主たる対象は文理選択を控えた一年生で、二年生からも関心のある分野で三十名ほどが受講した。

講師は九州大学と鹿児島大学の十一名の先生方で、それぞれの専門分野に関する講義を提供していただいた。文系分野も理系分野も豊かな内容で私たちを取り巻く社会の動きや、最先端の科学的な事象に関わる講義に、あるいは引き込まれ、あるいは内容の深さに戸惑いながらも、予定の八十分はあっという間に過ぎた。鶴丸高校を意識した「出前講義」だけでなく、各講座担当の先生方は張り切つて準備をなさつたようである。先生方は、「大学で実施する公開講座よりもずっとやりがいがありました。」と述べておられた。また、講座の受講生の数をほるかに上回る資料を持参された先生方もいらっしゃつた。



今回の企画は耐震工事の中、しかも授業を六限目まで行つた後の講義だけに、準備や部屋の出入りに窮屈なところがあつたが「内容」で十分に補うことができた。

受講した皆さんには、大学の授業を意識しながら、足元の毎日の学習や部活動をさらに充実させ、夢を大いに膨らませ、将来への道筋を確かなものにして欲しいと願うところである。

耐震工事に関するお知らせ

耐震・大規模改修工事は耐震壁の完成も間近。また内部の左官補修を経て、教室・トイレ等の改修工事、外壁補修と順調に進んでいます。そこで、十一月以降の主な工事についてお知らせします。

11月の行事予定

11月		教育 県民 週間
1	水	
2	木	3年実力時間割発表
3	金	文化の日 進研模試(全年生)
4	土	進研模試(2, 3年) 県民大学「湧勇」講座 駿台模試(3学年) (一橋, 東工, 大阪, 九州)
5	日	
6	月	学年朝会
7	火	
8	水	金曜校時
9	木	3年実力考査(1日目), 中掃除 学校安全の日, 3年PTA評議員会
10	金	3年実力考査(2日目) ロードレース大会
11	土	
12	日	第2回英検二次試験
13	月	全校朝会 集団読書(1・2年)
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	悠学講座 スクールカウンセラー③ 県民大学 駿台東大京大模試(3年)
19	日	駿台東大京大模試(3年)
20	月	学年朝会
21	火	
22	水	卒業考査時間割発表
23	木	勤労感謝の日
24	金	中間考査時間割発表
25	土	東大京大プレ(代々木)
26	日	東大京大プレ(代々木)
27	月	全校朝会
28	火	
29	水	
30	木	卒業考査(1日目) 金曜校時

- アルミ・スチール金具取付 十月二十五日
- 二階～四階内部左官補修・内装・天井下地 十一月十日
- 外部左官・金属・塗装工事 十月二十五日～十二月二十八日
- 屋上ウレタン防水 十一月七日
- 外壁ひび割れ、浮き等補修 十月二十三日～十一月三十日
- 渡り廊下(シンデレラ階段含む) 外壁ひび割れ浮き補修・塗装 十月二日～十一月二十日
- 十月十七日～十九年二月末